

様式1（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書）

令和 1年10月4日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

（依頼者）

〒305-0051

住所 茨城県つくば市二の宮1-13-4
シーズックバ2 302

事業者名 株式会社ネクステッジテクノロジー

担当者所属 代表取締役

担当者名 坂本 堪亮

電話番号 029-858-1126

電子メールアドレス tsakamoto@nextEDGEtech.com

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行う、介護ロボット等に係る「**介護現場と開発企業の意見交換実施事業**」「**試作機器へのアドバイス支援事業**」について、下記の書類を提出して依頼します。

記

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書（別紙）
2. 会社概要（任意様式）
3. これまでの介護ロボット等に関わる開発実績がわかる書類（任意様式）
※）実績がない場合は、提出不要

（本書類の取扱いと留意事項について）

- ご提出いただく「介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書（別紙）」は、介護施設等とマッチングする際、当協会のホームページを通じて、介護施設等へ公開いたします。従って、記載する内容は、公開可能な範囲で差し支えありませんが、具体的な記載がない場合には、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご了承ください。
- 適切なご協力がいただける介護施設等とマッチングするためにも、記載内容は技術的な事に偏らず理解しやすいものとしてください。
- 当協会では記載内容や本事業に関わる各種の相談を承っております。
- 案件によっては、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご留意ください。

令和 1年10月4日

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書

1. 希望する事業の種類 (いずれかに○印を記入してください。)

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業	○
2. 試作機器へのアドバイス支援事業	

2. 依頼者(企業)の概要

企業名	株式会社ネクステッジテクノロジー	
担当者名	坂本 堪亮	
担当者連絡先	住所	〒305-0051 茨城県つくば市二の宮1-13-4 シーズツクバ2 302
	電話	029-858-1126
	電子メールアドレス	tsakamoto@nextEDGEtech.com
主たる業種	情報通信業	
主要な製品	ソフトウェア、3Dセンサー、3Dセンサーを使った画像処理サービス	
希望する施設等の種類や職種等	病院施設 介護施設	
その他		

3. 当該機器の開発コンセプト又は試作機器等の概要 (可能な限り詳しく記入してください。)

機器の名称(仮称)	3DセンサーとAIを活用した人物姿勢、追跡システムサービス	
試作機器の有無及び機器のコンセプト(試作機器あれば写真を添付)	試作機器の有無	1. 有○ ・ 2. 無
	機器の目的及び特徴 介護ベッド脇等に設置した3Dセンサーから距離データや人物姿勢データを取得し、AI解析することで、ベッドからの転落や異常行動を事前に予測、予防を行う通知システム。	
想定する使用者及び使用方法、使用場面	①想定する使用者 病院など医療施設や介護施設 ②想定する使用方法 病床脇等に3Dセンサー設置し解析モジュールを接続のうえ、クラウド上のAIにデータを送信。転落や異常行動を事前に予測した結果をスマホ等で介護者に通知する。 ③想定する使用場面 病室ベッドの転落見守り、異常行動見守り。行動予測等	
現在の開発状況と主な課題	3Dセンサー試作機の準備が整い、データ解析のためのソフトウェア開発を進めている。同時に人物姿勢サンプルデータを収集し、フィールドテストを行うために1介護施設に訪問のうえ実施をおこなっているが、数多くのデータサンプルが必要なため他の施設紹介や、意見を頂く機会がほしい。	

特にアドバイス（意見交換）を希望している事項	介護者の立場から、どのような場面や状況での見守りを重要視するのか、また運用上の問題点などの洗い出し。 セキュリティの問題等はクリアできるか
その他	

（注）必要に応じて記載欄を増やしてください。

株式会社ネクステッジテクノロジー nextEDGE Technology K.K.

概要: 株式会社ネクステッジテクノロジーは、海外ソフトウェアのローカリゼーションノウハウを元に2004年つくば市で起業し、現在、タッチレスインターフェイス aeroTAP(エアロタップ)とステレオビジョン3Dセンサー aeroTAP 3D USBカメラを開発、販売するベンチャー企業です。

企業プロフィール: 2004年に起業し、海外ソフトウェアのローカリゼーションと販売するためのサイト www.shareEDGE.com を開始。200社を超える海外の最先端ソフトウェア会社へのローカリゼーションを提供し、日本語版のライセンスを国内に直接(ESD)、またはバブリッシャーを介してパッケージ販売してきました。中でも、いち早くセキュリティ関連ソフトウェア、スパイウェア対策など最新の脅威への対策ソフトウェアをその脅威の啓蒙と共に紹介しました。2006年は、モバイルソフトウェア(Windows Mobile)を中心に最も多くのソフトウェアを国内に流通させました。2010年に入り、iPhone/Androidスマホの普及によりPC用ソフトウェア流通も変化し、ソフトウェア販売事業は自然縮小いたしました。

現在の主な事業は、2008年から開発を進めてきた「タッチレスインターフェイス aeroTAP」です。ここで培った画像処理技術を使って、デジタルサイネージやエンターテインメント向けのインタラクティブデジタル コンテンツをB2Bにて受託開発してきました。2015年にはaeroTAPを製品化し、医療現場(筑波大付属病院)での臨床実績、デジタルサイネージでの販売を展開し始めました。

2017年には、ステレオビジョン 3Dセンサー aeroTAP 3D USBカメラの量産販売の開始と、aeroTAPの大幅な改善により、タッチレスインターフェイスの実用化と、本格的な販売を開始しました。

自社のステレオビジョン3Dセンサーの開発経験から、3D画像データ処理技術を基に、デジタルサイネージ、エンターテインメント、医療分野へのビジネスを開始しました。

代表プロフィール: 1991年Compaq Computer日本支/開発部に入社、1996年より米国 Houston本社にて、PCサーバー開発マネージャとして赴任
2004年 開発部マネージャとして最終退職し、つくば市にて、株式会社ネクステッジテクノロジー-起業

製品とサービス:

□ aeroTAP(エアロタップ) タッチレスインターフェイス - 手のひらでコンピュータを操作するシステム。アプリ開発不要で既存のシステムをそのままタッチレスに移行することが可能。CPU負荷が極めて小さいことが特徴

www.aeroTAP.com

□ aeroTAP 3D USBカメラ - ステレオビジョン 3Dセンサー USB2.0/3.0に対応
aeroTAP 3D USB Camera (2017), aeroTAP 3D USB GS (2018)

□ www.shareEDGE.com 海外ソフトウェアのローカリゼーションと販売

□ プロダクト開発と販売。aeroTAP Wireless Neckless Headset

ターゲット市場: 医療/福祉、FA、デジタルサイネージ、ビジネスコンシューマ、セキュリティ、パーソナルモビリティ、ロボット、ゲーム

ビジネスモデル: ハードウェアおよびライセンスの販売。

スローガン: Make it touchless with aeroTAP. 手のひらで近未来体験。

競合他社製品: Intel RealSense, Asus Xtion, Microsoft Kinect.

他社の優位点:

弊社が開発した ステレオビジョン方式の3Dセンサーは、TOFベースの3Dセンサーでは不向きな環境、弱点を補うことが可能で、かつ、USB20/3.0バスパワーで稼働できるため、IoTやスマートデバイスとの接続が容易に行えます。マシンビジョンとして、また3Dセンサーとして多くの新しい市場でのニーズに対応できます。

タッチレスインターフェイス aeroTAPは、他に例を見ないほど小さなリソースで稼働し、手のひら形状を検出、Windowsシステム、あらゆるアプリケーションをタッチレスで操作可能にします。

特許:

特許6050535 継続用ガーゼ、実登3201596 入力装置、再表2016/103769 操作入力装置、操作入力方法及びプログラム

商標:

- aeroTAP, shareEDGE、タッチレスインターフェイスは、株式会社ネクステッジテクノロジーの登録商標です。

nextEDGE
TECHNOLOGY

URL: www.nextEDGEtech.com

住所: 茨城県つくば市二の宮1-13-4
シーズツクバ2 302

電話: +81 29 858 1126

業種: IT, Smart Device

従業員: 9名

起業 2004年3月

代表取締役:

坂本 堪亮

tsakamoto@nextedgetech.com

資本金:

1000万円 100% 自己資本

メインバンク:

常陽銀行 研究学園都市支店

nextEDGE
TECHNOLOGY



これまでのロボット等に関わる開発実績

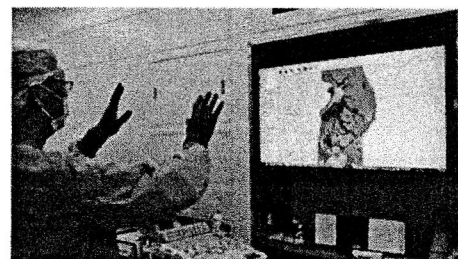
株式会社ネクステッジテクノロジー

2019年8月1日

弊社における現在の主な事業は、2008年から開発を進めてきた「タッチレスインターフェイス aeroTAP」です。「aeroTAP」はセンサー（カメラ）をPCに接続し、手のひらをセンサーに向けて簡単な直観的なジェスチャーを行うだけで、PCを触らず非接触にて操作する技術です。

ここで培った画像処理技術を使って、デジタルサイネージやエンターテイメント向けのインターラクティブデジタルコンテンツをB2Bにて受託開発してきました。

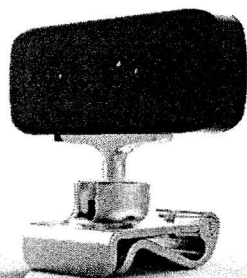
2015年にはaeroTAPを製品化し、機器に触らず必要な医療画像にアクセスする技術において医療現場(筑波大付属病院)での臨床実績、デジタルサイネージでの販売を展開し始めました。



2017年には、上記aeroTAPインターフェイスのパフォーマンス最大に生かすデバイスとして独自のステレオビジョン3DセンサーaeroTAP 3D USBカメラの開発と量産販売を開始、aeroTAPの大幅な改善によりタッチレスインターフェイスの実用化と、本格的な販売を開始しました。

自社のステレオビジョン3Dセンサーの開発経験から、3D画像データ処理技術を基に、デジタルサイネージ、エンターテイメント、医療分野へのビジネスを展開しています。

aeroTAP
3D CAMERA



2019年、本3DセンサーとAIを活用した人物姿勢、追跡システムを構築して、介護施設において人物の姿勢、行動追跡を行い、転落や異常行動を事前にアルゴリズムで予測し、介護者に通知を行うことで未然に事故や事件を防ぐサービスの実用化をめざします。